

(別添資料1)

事業所名 放課後等デイサービスゆとつち

支援プログラム

作成日 令和7 年 7 月 1 日

法人(事業所)理念 ~地域に広がる“ゆとりな”の和~ 互いに尊重、成長し合える人材の育成を行い、複雑化した社会における多様なニーズに柔軟性をもって頂くことで、お互いが助け合えるような、明るい地域作りのお手伝いをします。

支援方針
・個々の子どもの姿を受け止め、個別支援計画に沿った支援の提供を行います
・将来の自立や地域生活を見据え、地域社会への参加に結び付くような社会性やDLの獲得を目指します
・保護者支援も大切に考え、状況に応じた適切な支援の提供を行います
・各種研修に参加し、支援の質の向上を目指します
・定期的ミーティングを開催し、情報共有、ケース検討などを行います

※経営計画書から抜粋

営業時間 11 時 30 分から 17 時 30 分まで 送迎実施の有無 あり

一営業時間は各事業所の契約書や重要事項に書かれている時間を記載して下さい

支援内容

健康・生活
・おやつを通して「食」への興味・関心に繋げ、他児と同じ時間を共有しながら挑戦するなどを育みます
・身辺自立や身支度など、自分でできることを増やすように支援します
・必要な利用児には排泄のトレーニングを行い、自立を促します
・時間やお金、着替えやお手伝いなど日常生活に必要なスキルを学び、個々に応じた能力を身につけていきます

運動・感覚
・粗大運動:運動や協調運動のために腕や足、全身を使った動作運動(体操やボール運動、サーキットトレーニングなど)の活動を取り入れます
・微細運動:物を操作するために手と指を使えるような活動や力の強弱を取り入れた活動を行います(製作や日常トレーニングなど)
・着席時に姿勢保持ができるような環境を整えていきます
・アセスメントをもとに本人の持っている力(感覚や本人の特性)を活かして、利用児が一人で行える体験を増やします

本人支援
認知・行動
・視覚、聴覚、触覚などの本人の得意な情報を用い、認知の発達と行動の習得を目指します。そのために事前のスケジュールの提示や絵カード等の視覚的支援を行います
・利用児の特性を活かして空間・時間、数等の概念形成の習得を目指します。
・行動障害への予防及び対応として、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います
・「集団での活動」の時間を設けて、利用児の特性に合わせた社会性獲得の支援を行います。その中で出来た自信や誰もが感じる「苦手」がある事を認知できるよう協力していきます

言語コミュニケーション
・受容言語:利用児が職員やお友だちの意見を話さず聞き、注意を払い、理解しているかを見極め、確認や促しを行います
・表出言語:利用児が何を話すのか、もしくは手話やサイン、ジェスチャーや感情表現を用いるのか確認をしていきます。そして情報を集めて次の行動をするためにどのようなコミュニケーション手段を用いるかを見極め、確認や促しを行います
・読み書き:利用児が文字や数字についてどれくらい理解しているかを確認し、読み書きに繋げていきます。また子どもの興味や特性を考慮し本人が楽しく「読み書き」などができるような環境を整えていきます
・ヘルプサイン:自分の困り感や考えていることを他者に伝える力を育みます。その際に口頭での伝達だけでなく、サインやジェスチャー等の方法も一緒に学んでいきます

ヴァインランドのアセスメントツールに書かれている文言や他事業所やHUGの5療育の説明から抜粋しています

人間関係社会性
・職員やお友だちとの関わりを通して人間関係を構築します。また関わりを通して「人との距離感」を学ぶ機会を設けます
・職員と継続的に関わることで、信頼関係を継続し安心感を得られるようにしていき、個人間でのやり取りだけでなく、集団での過ごし方も学んでいきます
・お友だちとの関わりを通し、同世代以外の年齢の利用児との関わりの中で、他人の行動や気持ちを考える機会を提供していきます
・集団活動を通して、協力して一つのことを成し遂げる感覚やお友だちと同じ体験を共有し一体感を得られるようにします
・外出体験やお買い物等で地域社会へ参加し、社会活動への参加のきっかけを作っていきます
・個人の発達段階に合った介入を行い、集団生活の中で成長発達を促していきます

家族支援
・日常生活での困りごとや特性に関すること、家族間の課題や社会資源の活用など、送迎時や電話・メール等、面談を通して情報の共有を図り、必要時は助言を行います
・年に1回以上、事業所説明会(活動報告会、保護者会)を行い、職員と保護者との交流会を実施します
・社内研修等を行い、保護者の方にも障害の特性の理解や将来について学べる機会を提供します

移行支援

・小学校から中学校、中学校から高校など、利用児のライフステージを見据え、次のステージと情報共有を行っています
・地域と繋がりがながら日常生活をおくるため、地域住民との方との交流を図ります

地域支援・地域連携
・他事業所や学校と情報の共有や連携、必要時はケース会議を開催します
・地域の活動や研修等に参加し、地域の連携に繋がるような取り組みをしています

職員の質の向上

・月に1回、職員の研修の機会を作っています
・外部研修にも参加し、支援のスキルアップと知識・情報の向上を図ります

主な行事等
・季節の行事
・近隣の施設や公園へのお出かけ
・お金を使ったお買い物体験や外食体験